

令和5年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修（基礎編）報告書

- *開催日時 令和5年10月9日（月） 13時～16時
- *開催方法 Web開催（Zoom使用）
- *参加者数 67名 事前申し込み69名（欠席2名）
- *運営担当 福山雄三（日本医科大学多摩永山病院）、上山真美（群馬県立県民健康科学大学）
- *テーマと講師

テーマ：急性期病院における認知症看護とせん妄看護

- 講義1 急性期病院における認知症看護
平佐 靖子 氏 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 老人看護専門看護師
- 講義2 急性期病院におけるせん妄看護
鳥海 幸恵 氏 川崎市立川崎病院 老人看護専門看護師

*アンケート結果・感想（回答数 60名、回答率 89.6%）

1. 参加者の概要

1) 参加者の属性

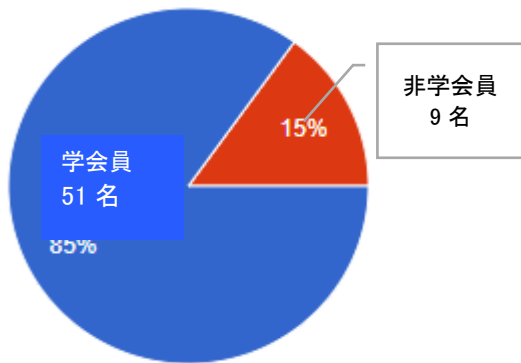


図1 入会状況

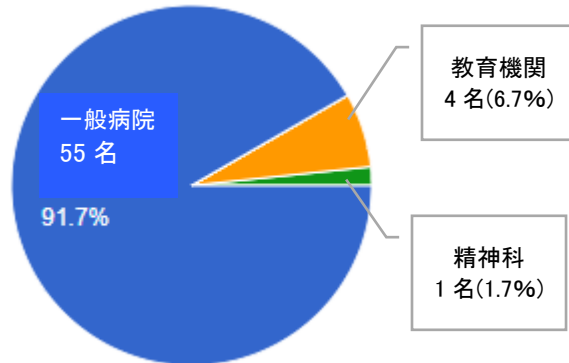


図2 参加者の勤務先

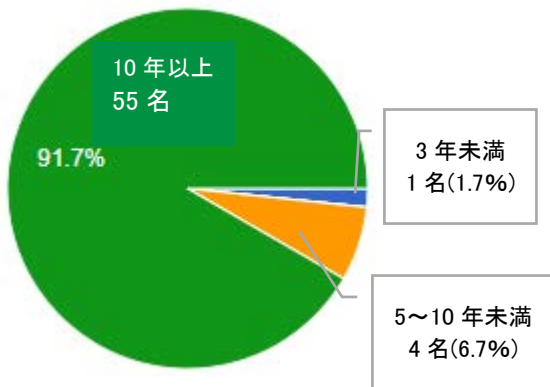


図3 看護師(教員)経験年数

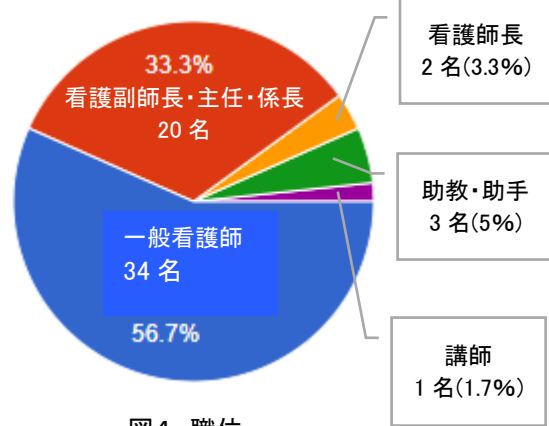


図4 職位

2) 研修をどのように知ったか

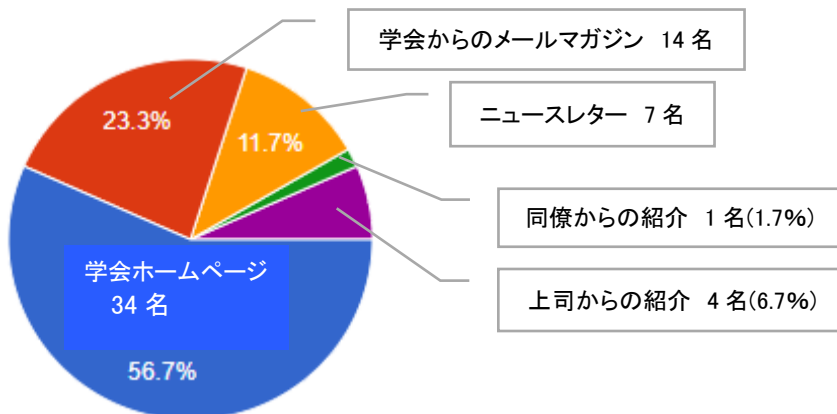


図5 研修をどのように知ったか

3) 開催時期・開催時間・開催方法

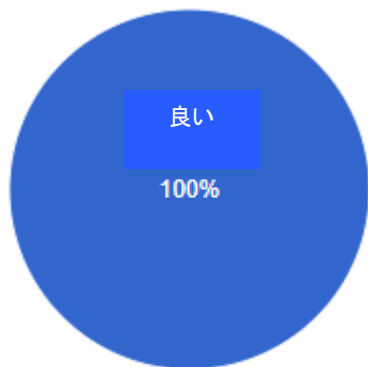


図6 開催時期

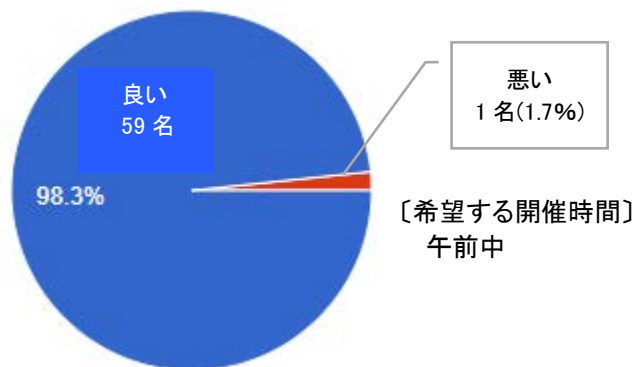


図7 開催時間

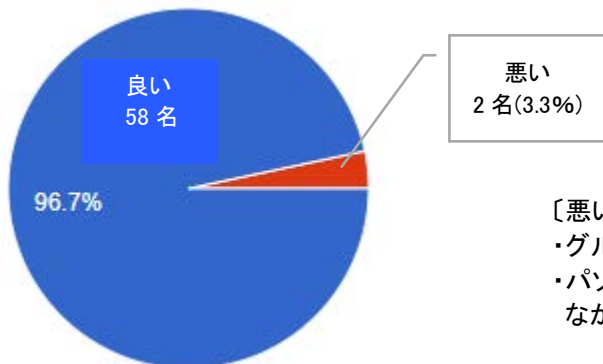
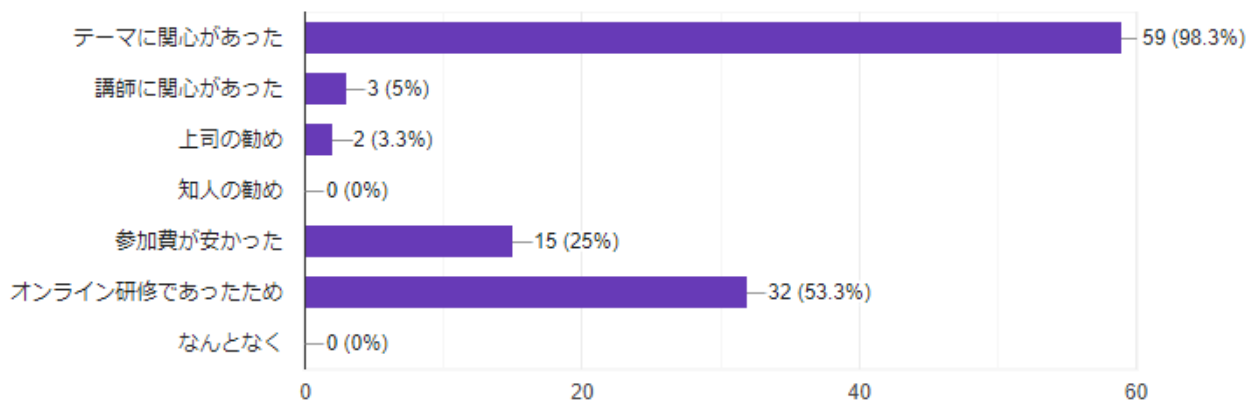


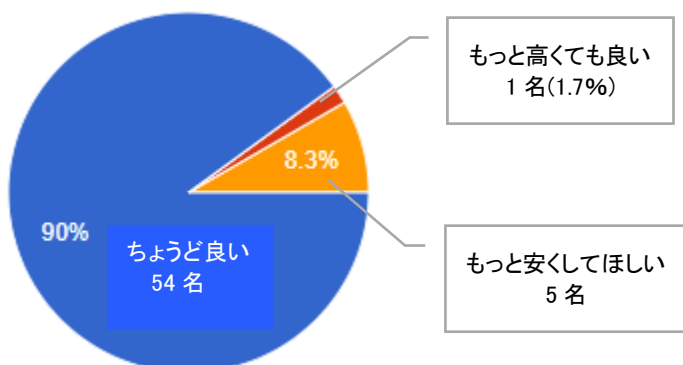
図8 開催方法

〔悪いと回答した理由〕 回答 1 名
 ・グループワークのやりにくさを感じた。
 ・パソコン苦手なので…事例の画面と皆さんの顔を見ながらがなかなか上手できませんでした。

4) 研修受講の動機 (複数回答)



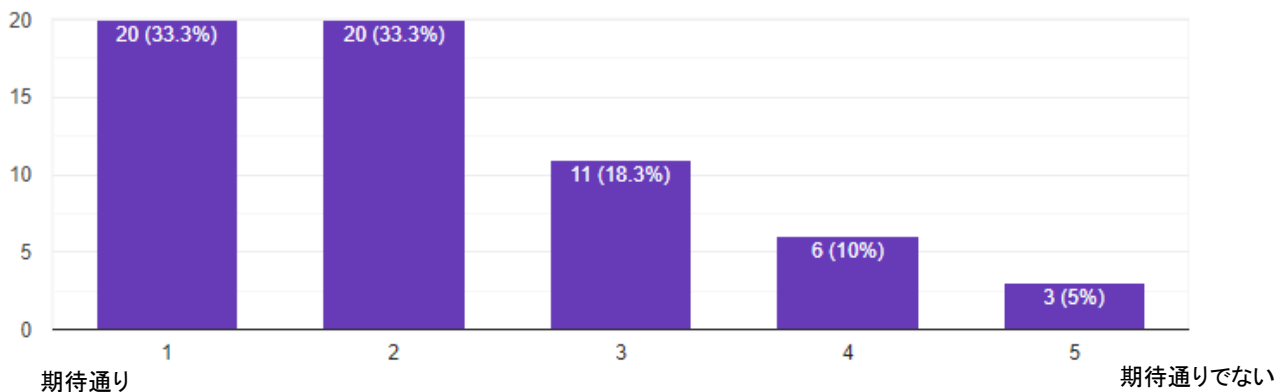
5) 研修参加費



2. 今回の研修会について

1) 研修内容について

n=60



2) 今回の研修に関する意見や感想

[研修内容について]

- ・何時までGWなのか明瞭ではなく、最後まで話し合いすることができなかった
- ・様々な方と交流を含め意見交換ができてとても有意義でした。ありがとうございます。
- ・鳥海講師の話がとても分かりやすく、よかったです。わかりやすくご説明いただきありがとうございます。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・グループワークで他の方の意見を聞くことができてよかったです。ありがとうございました。事例をもう少し取り入れていただけると実践につながるかと思いました。
- ・オンラインの不具合が気になった
- ・認知症委員で何度も聞く内容だが、忘れていたこともあり良かった。
- ・モヤモヤとしていたことを共有できたグループワークでした。高次機能障害の方の身体抑制解除が難しく、なかなか進みません。
- ・グループワークをすることで、違う視点で考えることができた
- ・とても分かりやすく、グループワークでの意見交換ができたこともとてもよかったです。

せん妄の対応については、現場で常に課題となっているのでとても参考になりました。ありがとうございました。

- ・事例で様々な学びがありよかったです。事例検討を増やして欲しいです。
- ・グループワークの時間配分、発表時間等を事前に伝えてもらってから、グループワークをしたらよかったと思う。
- ・zoomが落ちてしまいグループワークで最後まで話せず残念でした。
- ・一般的な内容でわかりやすかった
- ・非常に参考になりました。有難うございました
- ・認知症のことからせん妄のことまでかなり詳しく、アセスメントの視点、ケア方法などよくわかりました！考え方を学べたと思います。
- ・分かりやすい講義ありがとうございました。急性期病院ではせん妄ケアが重要視されつつも、実際に介入が不十分な現状があります。せん妄ケアはチームで行う必要があるからだと思います。医療をはじめ、多職種と連携して介入するべきか教えていただく機会が欲しいです。今後も期待しております。

・講師の方の説明が聞きやすかったです。

・臨床現場でよくあるような事例でしたので、具体的なケア方法が話し合えて、また発表を聞いて学ばせて頂きました。

・分かりやすく、事例もイメージしやすい内容でした。

・グループワークでいろんな方の意見が聞けてよかったです。ありがとうございました。

・zoomの取り扱いが上手くいかず苦戦しました

・別の団体主催研修のzoomではURLを押しただけでzoomに入っていたので 今回はとても大変でした

・研修内容はとても充実しておりありがとうございます

・急性期病院で、認知症患者のある患者さんへの対応に苦慮する事も多いので本日の研修は大変学びになりました。

・事例を前もってみる事ができず焦りました。郵送資料に入れていただけたらありがたかったです

・ちょっと知っている内容でしたが、復習の意味も込めて勉強になりました。せん妄対応に日々追われています。

・本日、グループワークや皆様の発表を伺い、自分の勉強不足を感じました。

・せん妄対応の研修の機会には積極的に参加していきたいと思います。

・グループワークで認定さんの意見が聞けてよかった。

・改めて、急性期病院における認知症看護について復習する機会となりました。せん妄要因への具体的な対策の考え方が学び、共有できて良かったと思います。

・基礎的な内容を丁寧に説明して頂き、理解が深まりました。また、グループワークも色々な意見交換が出来て良かったです。ありがとうございました。

・とても有意義な研修でした。特にグループワークで意見交換できたことが良かったです。ありがとうございました。

・臨地のご意見を聞けて良かったです。せん妄のご講義面白かったです。ありがとうございました

・他の研修では聞くことができない実践に活かせる内容だった

・本日のグループワークで司会、書記、発表者を決めましたが、書記は不要ではないかなと思いました。ワードで記録を作成し、グループメンバーと画面共有しようと思ったのですが、共有の権限がホストにしかなかったため、共有できずに終わってしまいました。

・グループワークの始まりが誰も話さず時間ももったいなかった。ファシリティが最初からグループワークにいて欲しい。

・貴重な講義ありがとうございました

・グループワークで他の方の意見を聞く事が出来良かった。ウェブでのグループワークが不安

・すぐに実践に活かせる内容で良かった。

・グループワークで他院での患者への関わり方など参考になりました。

・講義の内容、またグループワークではリソースのライセンスを持った方がいたので非常に現場目線でのセッションができました。また参加させていただきたいと思います。

・グループワークで意見交換ができたことで、知識や実践の再確認ができた。また実際のケア方法が知れた

・急性期病院での認知症、せん妄看護いつもいいケアについて考えさせられているのでとても勉強になりました。病気を見がちなので本人について知ることを意識していくことをスタッフ指導していければとおもいました。

・全国の皆さんとグループワークが出来て、大きな学びになりました。

・zoomでのグループワークに慣れておらず、戸惑いもありましたが、皆様の色んな意見をお聞きしてケアの情報共有が出来たことはとても良かったと思います。

・認知症や、せん妄患者への対応について学びが深まりました。なかなかちゃんと話を聞く時間をとっていなかったのも、まずは、患者の意向に寄り添っていきたいと思いました。

・ありがとうございました。グループワークで話し合いを楽しくでき、講義の振り返りができたのがとても学びにつながりました。今後の実践に活かしていきたいと思います。

・事例の「認知あり…」の表現がとても気になりました。ニンチと認知症のことを表現することは、差別的だとの当事者の意見もあるため、事例でも記載しない方がいいのではないかと思います。

・参加者のレディネスが不明ですが、グループワークのメンバーや発表からはもう少し専門的な内容を学びたかったです。日々臨床で役立てている内容でした。厚労省の現場調査でも、十分に事前の情報収集をする体制がとられていると思いました。

・自施設で行った研修内容とだいたい同じ内容だったが、あらためて勉強になった。

・グループワークの途中で画面が消えてしまい、最後までグループワークに参加できなかった。再入室した時には、既に発表となっていた…同じグループの方に申し訳なかったです

・認知症、せん妄ケアの実践に応じた知識が習得できました。日常ケアの実践とともに、教育的支援でも活用させて頂きたいと思います。

・講義とても勉強になりました。

・認知症看護、せん妄看護のこと自分の病院のスタッフの方たちにも是非理解してもらえるように、頑張りたいと思えました。日頃から、研修とか事例検討会を、やりながら理解協力を得られるように頑張りたいです。ありがとうございました。

・事例が冊子に掲載された方がグループワークしやすいかと思います。

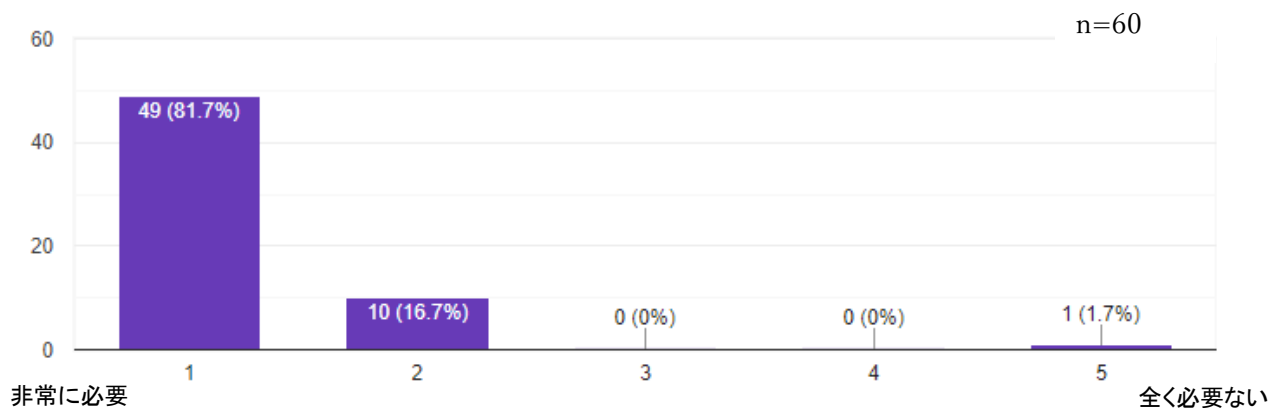
・グループ分けは事前にしておいて欲しかった。言われたかもしれないですが、何時までがGWか分からなかった。

・グループワークで意見交換や多くの意見を聞くこともとても勉強になった。改めて学ぶことができよかったです。

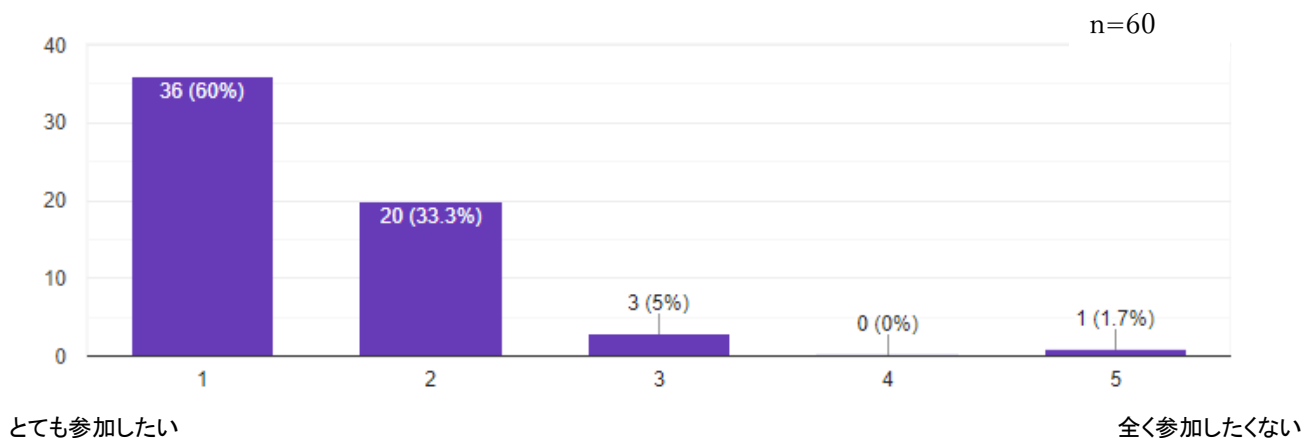
・いつももやっとしていたことを調べて見ようと思いました。その疑問をもつ人を探し協同研究も面白いと思いました。

・もやっと思っていることが、本当はどうなのか、調べて見たいと方向転換できて良かったです。

3. 老年看護における看護師の生涯学習について



4. 今後の本学会主催研修への参加希望について



5. 今後、研修として取り上げて欲しいテーマについて

- ・身体拘束と医療安全
- ・急性期病院における身体拘束低減に向けた看護の実践チーム介入におけるせん妄ケア
- ・高齢者の意思決定支援チームビルディング
- ・認知症看護について、パーソン・センタード・ケアについて
- ・身体拘束解除の取り組みの実際についてご紹介頂けると幸いです。
- ・認知症高齢者の感染対策、認知症高齢者の意思決定支援、認知症高齢者のエンドオブライフケア
- ・認知症高齢者の意思決定支援について認知症高齢者の退院支援についてなど
- ・マッサージについて
- ・ACP
- ・高齢者の特徴など、基本的なことの学びなおしを繰り返し行っていきたい
- ・病院、施設内での高齢者、認知症ケアに焦点を当てた教育や取り組みの工夫など知りたいです。
- ・急性期病院での院内デイの取り組み認知症と転倒について
- ・急性期病院での倫理カンファレンスの意義や方法を知りたいです。
- ・①老年看護学の立場表明で示された内容についての評価指標を持てば良いか②老年看護学にお

けるチームマネジメントやリーダーシップ

- ・せん妄の薬剤治療
- ・緩和ケア。高齢者の意思決定支援
- ・ELNEC-JG
- ・事例検討がしたいです。

6. 老年看護学会への要望など

- ・このような機会をまたお願いいたします
- ・グループワークがあると意見交換が出来て良かったです。ありがとうございます研修を増やしてほしい
- ・多くの学びと発見を頂いております。これからもこのような研修をよろしく願います。
- ・今回の研修で活発な意見交換できました。とても楽しかったし、ためになりました。ありがとうございます。

*研修を通しての課題

- ✓ ZOOM が途中で落ちてしまった（操作ミスの可能性）再入室していただき再開はできたが、再入室に時間がかかり一部途切れてしまった方がいらっした。
 - 操作は慎重に行うようにする。できれば主催者は同じ部屋にいたほうがフォローしやすいのではないか。
- ✓ ブレイクアウトセッションの振り分けが煩雑になった
 - あらかじめ名前とともにグループ番号をつけて入室する工夫をすると、スムーズに分けられたのではないか